



# 市議会だより

東松島市  
第54号

令和元年11月1日発行



▲令和元年度消防演習 まちの安心を守る消防団



東松島市は政府からSDGs未来都市に県内で唯一選定されました。

- 看護師確保に関する請願審議、国旗・市旗の決議 … P5
- 一般質問～15人が市政をただす …………… P7
- 市議会アンケート結果のお知らせ …… P15、16



議会映像配信サイト  
QRコード



ホームページ <http://www.city.higashimatsushima.miyagi.jp/index.cfm/31.html>  
E-mail [h-gikai@city.higashimatsushima.miyagi.jp](mailto:h-gikai@city.higashimatsushima.miyagi.jp)  
議会映像配信ページ <http://www.higashimatsushima-city.stream.jfit.co.jp>

発行／宮城県東松島市議会  
編集／議会広報常任委員会



# どう生かされたまちの税金

## 7つのマニフェストに沿った決算

歳入決算額で前年度比74億円減の372億5,201万円、歳出決算額が前年度比66億円減の362億8,623万円となり、歳入歳出差引では前年度比約9億円減の9億6,577万円となりました。

震災後8年が経過し、決算額も減少し歳入歳出の約半分が震災復興関連です。

決算審査の中で復興事業については、ほぼ計画どおりに進捗しており復興完結に向けラストスパイトでもあります。

復興庁の終了まで残すところ1年半半弱で、その後は通常予算により、財政が厳しくなりますので、効率的な行財政運営を切に願います。

(財務常任委員長 小野 幸男)

## 総括質疑 Q & A

### 平成30年度の決算の総括について

松枝会 小野 幸男  
市長へ質疑

疑 私立高等学校の進捗状況は。

答 本年3月から希望する生徒への学校説明会を開催している。

疑 農業・漁業生産法人の担い手育成の確立は。

答 農業で6名、漁業で1名の新規就農があり、引き続き県と取り組む。

疑 認知症初期支援体制の成果について。

答 チームの粘り強いアドバイスで信頼関係が生まれ受診につながる。

疑 SDGsの地方創生の取り組みの成果と今後の財源確保と経費の削減の成果は。

答 東北SDGs未来都市サミット・シンポジウムを開催し周知を図る。要望活動で交付税の増を図る。各課の意識醸成を図り費用削減に努める。

### 平成30年度 渥美市政の決算を問う

市民クラブ 石森 晃寿  
市長へ質疑

疑 復興交付金事業計画全体に対する平成30年度の執行率83・4%となっている。市長は、どのように感じているか。

答 復興が計画に沿って着実に進んだと感じている。

疑 8社全て企業進出して来るのか。

答 8社全て進出して来ている。

疑 実質公債比率が下がっている要因。

答 合併特例債の期間満了による公債費負担金の減。

疑 電子黒板等の導入は、一助になったか。夏休みを5日間短縮した成果はあったのか。

答 電子黒板等の導入は、本年4月から導入している。全国学力・学習状況調査では、全国の平均正答率との差は、小さくなっている。

### マニフェストの完成度はいかに

清風・公明 上田 勉  
市長へ質疑

疑 復興事業の完成度

答 完成度は満足。SDGsや地方創生の視点で事業展開した。また、健康保持事業として、パークゴルフ場を整備した。

疑 観光事業の成果

答 四季ごと特色ある事業を展開した。宮城オルレの満足度向上にむけ、態勢整備した。

疑 福祉の充実・健康保持事業、医療体制

答 西部包括支援センターを開設するとともに子育て支援策の充実、心の復興を含み医療介護体制を整備した。私立認可保育園の誘致、放課後児童クラブを拡充整備し、待機児童減に努めた。

疑 学力向上

答 各学校にICT機器の導入、エアコンの設置等教育環境を整備した。学力の差は小さくなり、改善の兆しが見られた。(市長)

### 平成30年度決算の事業総括について

清新会 阿部 勝徳  
市長へ質疑

疑 監査委員から事業目的はおおむね達したと高評価を受けたが見解は。

答 各部署で適正な予算管理で事務事業を執行、推進した結果だと思ふ。

疑 個人市民税の納税義務者の増加と総所得額の増加に対する見解と次年度以降の予想は。

答 所得全体が伸び所得割算定額の増加が要因だ。国の税制改正を留意しながら個人市民税の納税者数を注視していく。

疑 さらなる企業誘致のための課題は。

答 工業団地のさらなる整備が課題で土取り場跡地を有望と考える。

疑 子育て支援の拡充と女性活躍社会作りは。

答 夜8時まで延長保育する私立認可保育園の誘致や放課後児童クラブの充実を図った。

9月13日、4会派より議員各1名が、平成30年度決算について質疑しました。ここでは、質疑の一部をお伝えします。

# 審査結果は全会計 「認定すべきもの」

審査は一般会計ほか国民健康保険・下水道事業・大曲浜地区土地区画整理事業など7特別会計の審査を財務常任委員会で行いました。

同委員会では、より専門的に審査を行うため①総務分科会②民生教育分科会③産業建設分科会を設置しました。

3分科会は所管する各担当課職員を説明員として出席要求し、質疑・委員間討議等を行いながら慎重に審査しました。

また、市営小松住宅な



▲西部地域包括支援センターを視察



▲小野幸男財務常任委員長（審査報告）

ど5箇所の現場を調査しました。

各分科会の審査および現場調査を踏まえ、同委員会は、平成30年度決算について、13件の特に留意すべき事業案件の記録を付し、「認定すべきもの」と決しました。

9月27日、第3回定例会の閉会日の財務常任委員長報告では、審査結果を全会計「認定すべきもの」と報告し、採決では、総員賛成で認定することに決定しました。



▲小野地域ふれあい交流館「ひだまりの里」の運営状況を確認。

## 平成30年度各会計決算状況

(単位:千円)

会計別		歳入	歳出
一般会計		372億5,201万0	362億8,623万2
特別会計	国民健康保険	46億2,070万6	45億1,904万3
	後期高齢者医療	3億8,907万1	3億7,908万7
	介護保険	31億5,807万8	30億8,941万6
	農業集落排水事業	1億2,664万2	1億2,569万2
	漁業集落排水事業	772万1	754万3
	下水道事業	44億8,995万4	44億4,732万6
	大曲浜地区土地区画整理事業	7億9,978万2	4億9,537万6
(特別会計小計)		135億9,195万4	130億6,348万3
合計(一般会計+特別会計)		508億4,396万5	493億4,971万5

※各会計、百の単位で四捨五入。(端数処理の関係で、合計額は一致しない。)

## 市の財政状況は？

### 財政力は？

財政力指数 **0.45** 良化

数値が高いほど自主財源の割合が高く、財政力が高い。平成29年度は、0.42。

### 余力は？

経常収支比率 **88.3%** 悪化

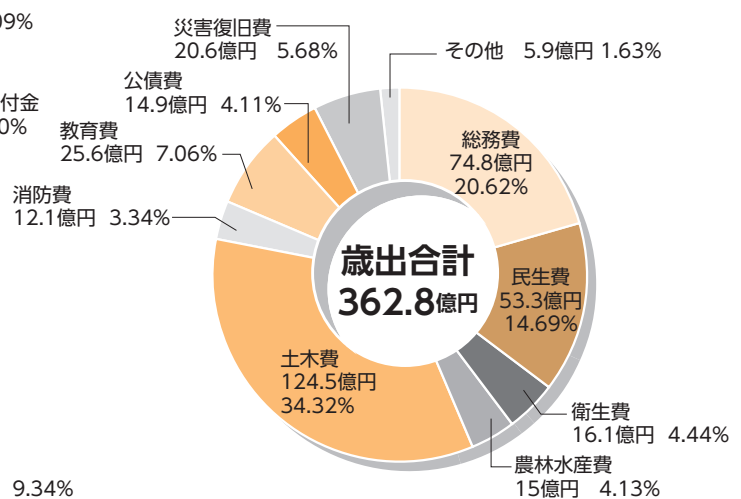
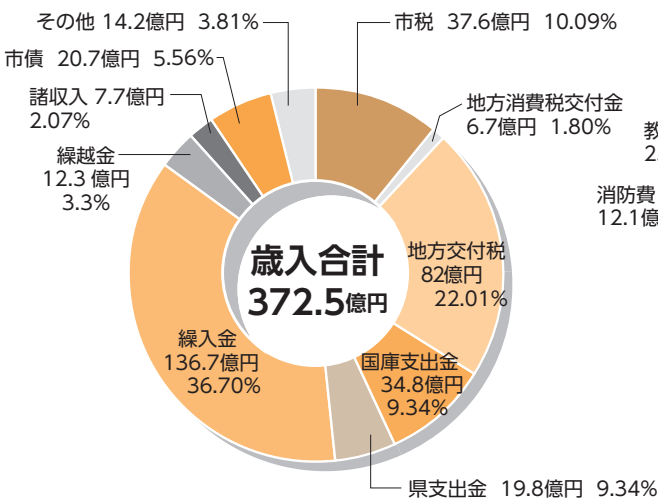
数値が高いほど財政状況が悪い。平成29年度は、85.4%。

### 借入金の負担度は？

実質公債費比率 **6.6%** 良化

25.0%以上は財政健全化計画を策定しなければなりません。平成29年度は、8.5%。

## 平成30年度一般会計収支状況



※各会計、千万の単位以下切り捨て。

財務常任委員会は、3分科会を設置し、各種会計決算の審査を行いました。総務・民生教育・産業建設の各分科会は9月17日から9月25日までの期間で内部審査と現場確認を実施しました。

分科会審査で各分科会が記録した「特に留意すべき事業案件」を全て紹介します。

## 財務常任委員会（3分科会） 平成30年度決算審査 「特に留意すべき事業案件」

### 【平成30年度決算審査（分科会審査）において特に留意すべき事業案件を記録したもの】

市民協働課	<p>●蔵しっくパーク管理運営事業 指定管理者の決算資料については、十分に精査すべきである。</p>
	<p>●結婚促進事業 委託先には、成果を求めるよう指導すべきである。</p>
	<p>●小野地域ふれあい交流館管理運営事業 運営先の黒字化を努力すべきであり、自走を目指すべきである。</p>
復興政策課	<p>●JR 仙石線利便性向上事業 JRと十分協議のうえ、陸前小野駅業務委託の今後について検討を行うべきである。</p>
収納対策課	<p>●市税等収納事業（一般会計ほか各種会計） ●滞納整理事業 滞納整理の効果は若干上がっているが、市税等の現年度内徴収を重視し、不納欠損に至らないよう、収納業務に引き続き努力すべきである。</p>
高齢障害支援課	<p>●介護職員養成事業 初任者研修の受講希望者が少ないので、既に介護職に従事している方々が受講しやすいよう支援すべきである。</p>
	<p>●緊急通報体制整備事業 機器の整備も含め、通報システムにおける各機関等との連携をさらに強化すべきである。</p>
子育て支援課	<p>●放課後児童保育事業 平成30年度予算審査において、指摘した待機児童の減少および指導員の質の向上については、是正されつつあるが、さらなる質の充実と学力向上に寄与するよう努めるべきである。</p>
教育総務課	<p>●学力向上推進事業 教師塾開催に当たっては、指導力向上についての調査を行い、若手教師のさらなる資質向上に資するべきである。</p>
生涯学習課	<p>●中学校部活動指導者派遣事業 教師の指導力、働き方改革推進のため、専門的技術を有する指導者を有効活用し、部活動を推進すべきである。</p>
建築住宅課	<p>●急傾斜地周知点検事業 土砂災害による被害の発生予防に寄与するため、危険箇所の点検を実施している。また、市民の連絡にも適切に対処しているとみられる。引き続き、こうした体制と対応を堅持すべきである。</p>
商工観光課	<p>●観光客誘客及び地場産品販売促進事業 観光客入込数は増加したものの、観光客の消費拡大につながる経済効果策を確立すべきである。</p>

議案第73号  
東松島市会計年度任用職員の給与および費用弁償に関する条例について  
(総務常任委員会付託審査)

地方公務員法および地方自治法の一部を改正する法律が平成29年5月に公布され、特別職非常勤職員および臨時職員の任用要件を厳格化することや期末手当の支給を可能とすること等が規定されたことにより本市の該当する職員260名を会計年度任用職員として規定し、期末・退職手当、育児休業の取得を認めること、分限・懲戒処分等の責任を付加した身分に移行する条例です。

令和元年9月27日、第3回定例会本会議で原案のとおり可決されました。

人権擁護委員の推薦

伊藤美也子氏(牛網)の人権擁護委員の推薦について、適任と答申しました。伊藤氏は、平成23年1月から、継続して委員を務めています。

請願第1号  
看護師確保に関する請願審議(審査)報告  
(民生教育常任委員会付託審査)

請願採択し、市長へ送付  
令和元年9月5日、請願第1号として請願事項の所管の民生教育常任委員会に付託されました。内部審査では、紹介議員および所管執行部職員から、請願主旨および請願事項に関して聞き取りおよび質疑を行いました。

委員間討議を行い、看護学生に対する給付型奨学金制度の補助については、国の制度であり、本市独自で判断すべき事項ではないが、看護師不足が市全体として課題であり、市は、速やかに国県への働きかけを行う必要があるとの意見でまとまりました。

討論、採決した結果、願意妥当、「採択すべきもの」と決しました。

令和元年9月27日、第3回定例会本会議に上程され、委員長報告のとおり、採択することに決定し関係機関として、市長へ送付されました。

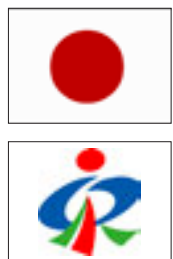
議案第1号  
議場における国旗および市旗の掲揚に関する決議

賛成多数、原案可決  
令和元年9月27日、第3回定例会本会議に上程され、原案のとおり可決されました。

本会議審議では、まず提出者である上田勉議員が趣旨説明しました。

討論では、原案に対する反対討論で、長谷川博議員が登壇。原案に対する賛成討論で、佐藤富夫議員、続けて五ノ井惣一郎議員が登壇しました。

起立による採決では、原案のとおり可決すること、長谷川博議員を除く議員15名が賛成、長谷川博議員が反対し、賛成15、反対1で賛成多数により原案のとおり可決されました。※大橋博之議長は、採決に加わりません。



9月補正予算  
(議案87、92、96号)  
補正予算総額(増額)  
33億8,033万6千円

一般会計ほか各種会計の補正予算を9月5日の補正予算を9月5日および27日の本会議で慎重審議し、全会一致で原案のとおり可決しました。

多数の質疑がありました。なかでも、市民の関心度が高いと思われる質疑および答弁の内容を紹介いたします。

●土木費、道路維持管理事業(道路維持修繕工事等)

■どの箇所の工事か。工事の内容は。

■市内9箇所(矢本西小付近、鳴瀬未来中付近等)の交差点への防護柵(ガードパイプ)の設置工事。市内横断歩道設置箇所のうち、市道57箇所は通学路、交通量等を調査し、必要箇所は今後予算化していく。(1、136万7千円の増額)

市長提出議案、全5件を全会一致で原案のとおり可決しました。議案の件名と主な内容は下記のとおりです。

議案番号	件名と主な内容
議案第66号	平成29年度浜市小学校災害復旧用地造成工事請負変更契約の締結について… 6月末現在進捗率は80%。樹木の伐採等処分費増、法面保護工の工種変更等により、契約金額を変更するもの。
議案第67号	(債) 令和元年度浜市小学校災害復旧工事(鳴瀬桜華小学校併行防音工事)(建築工事) 請負契約の締結について… 校舎、講堂、プール新築一式、屋外整備新設一式を一般競争入札を行った結果、丸か建設(株)を落札者と決定し、請負契約の締結をしたもの。
議案第68号	(債) 令和元年度浜市小学校災害復旧工事(鳴瀬桜華小学校併行防音工事)(電気設備工事) 請負契約の締結について… 電灯設備工事、動力設備工事、太陽光発電設備工事等、電気設備工事に関し一般競争入札を行った結果、北上電設工事(株)を落札者と決定し、請負契約の締結をしたもの。
議案第69号	(債) 令和元年度浜市小学校災害復旧工事(鳴瀬桜華小学校併行防音工事)(機械設備工事) 請負契約の締結について… 空気調和設備工事、換気設備工事、給排水設備工事等、機械設備工事に関し一般競争入札を行った結果、(株)朝日工業社東北支店を落札者と決定し、請負契約の締結をしたもの。
議案第70号	財産の無償譲渡(旧浜小学校)について… 東日本大震災からの復興に資することを目的とし、旧浜市小学校の東西校舎、屋内運動場を(株)東松島ファームに無償譲渡したもの。なお、敷地に関しては令和9年3月までに無償貸付予定。

# 9月（第3回）定例会可決議案

市長提出議案、全13件を原案のとおり可決しました。議案の件名と主な内容は下記のとおりです。

議案番号	件名と主な内容 ※ほかの記事で説明した議案の説明は省略しています。
議案第74号	東松島市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について… 令和2年1月1日より、一般職の任期付職員等についても1年に1回予算の範囲内において昇給を行うものとする等、条例の一部を改正するもの。
議案第75号	東松島市特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について… 3才～5才までの保育料が無償化されることに伴い、食事の提供に要する費用の取扱いの変更や特定地域型保育事業の連携施設の要件の緩和を行うもの。
議案第76号	東松島市保育所条例の一部を改正する条例について… 令和元年10月1日から実施される保育料の無償化に伴い、3才未満児の徴収基準額を定めたもの。
議案第77号	東松島市家庭的保育事業等の設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について… 経過措置の期限を5年から10年に延長することや確保義務の緩和等、所要の改正を行うもの。
議案第78号	東松島市放課後児童健全育成事業の設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について… 放課後児童支援員認定資格研修について、政令指定都市の長が行う研修を修了したのもも放課後児童支援員となることができるよう改正するもの。
議案第79号	東松島市印鑑の登録および照明に関する条例の一部を改正する条例について… 印鑑登録証明書への旧氏の併記のほか、旧氏での印鑑登録が可能となったことから所要の改正を行うもの。
議案第80号	東松島市駐車場条例の一部を改正する条例について… 令和2年1月1日より、東松島市駐車場として矢本駅北駐車場 1,308㎡、駐車台数 30 台、1 月当たり駐車料金 3,000 円を加えるもの。
議案第81号	東松島市下水道条例の一部を改正する条例について…（※下記に賛否について記載） 令和元年10月1日からの消費税および地方消費税10%への税率改定に伴い、10月下水道使用料から改定を行うもの。
議案第82号	東松島市立幼稚園保育料徴収条例を廃止する条例について… 令和元年10月1日から幼児教育・保育料が無償化されることに伴い、4～5才児を保育している東松島市立中央幼稚園については、本条例を廃止するもの。
議案第83号	（債）令和元年度東松島消防署新築工事（建築工事）請負契約の締結について… 老朽化した東松島消防署の新築工事に伴い、一般競争入札を行った結果、（株）丸本組東松島営業所を落札者と決定したもので、工期は令和2年10月30日まで。
議案第84号	（債）令和元年度矢本東小学校プール改築工事（建築工事）請負契約の締結について… 既存プール解体工事一式とプール新築工事一式 25.0m × 15.0m、水深 0.90m ～ 1.10m、付属棟等、一般競争入札を行った結果、（株）千葉工務店を落札者と決定。工期は令和2年5月29日まで。
議案第85号	財産の取得（消防ポンプ車）について… 平成13年度に市消防団第3分団中、小松部へ配備した小型消防ポンプ積載車について、消防力の強化を図るため、消防ポンプ車に更新するもの。
議案第86号	訴えの提起について… （債）平成29年度復興交付金事業東名・新東名線橋梁上部工工事の受注者（株）エム・テックの履行保証保険会社である楽天損害保険（株）に対し履行保証保険金（違約金）の支払いを求める訴えを提起するもの。
議案第93号	（債）平成30年度野蒜排水区（雨水排水）下水道函渠工事（その1）請負変更契約（第2回変更契約）の締結について… 変更内容は、奥松島公園災害復旧事業で移設再利用される防球ネットを工程等調整を行い、撤去するもの。
議案第94号	（債）平成29年度大曲排水区（雨水排水）下水道管渠工事（その2）請負変更契約の締結について… 変更内容は、ボックスカルバート敷設に支障となる給水管を、水道企業団と協議を行い、移設するもの。
議案第95号	（債）平成29年度大曲排水区（雨水排水）下水道函渠工事（その3）請負変更契約の締結について… 変更内容は、宮城県と協議した結果、工事用通路確保のため、敷鉄板の設置および撤去を追加するもの。

賛否が分かれた議案の採決結果 ○…賛成、×…反対 ※大橋博之議長は採決に加わりません。	議決結果	石森	上田	手代木	齋藤	土井	熱海	小野	小野	大橋	阿部	欠員	五ノ井	櫻井	佐藤	長谷川	熊谷	滝	阿部
		晃寿	勉	せつ子	徹	光正	重徳	幸男	恵章	博之	とし系	員	一郎	政文	富夫	博	昌崇	健一	勝徳
議案第81号 東松島市下水道条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	—	○	○	○	×	○	○	○

# 第6回臨時会(8/5)可決議案

市長出議案、全2件を全会一致で原案のとおり可決しました。議案の件名と主な内容は下記のとおりです。

議案番号	件名と主な内容
議案第71号	財産の取得（公用車（バス））について… 現在公用車として使用しているバスについて登録から21年が経過したため、耐用年数等を考慮し、更新・購入するもの。
議案第72号	財産の取得（防災行政無線（同報系）デジタル戸別受信機）について… 現在本市が市民等へ無償貸与している防災行政無線戸別受信機について、アナログ方式からデジタル方式に変更するため、デジタル戸別受信機（8,688台）の購入を行う。

# 15議員が 市政をたずねる

一般質問は、議員が本市の一般事務に関する質問を行ったり、政策提言を行うことなどを言います。議論の様子は録画中継でもご覧になれます。

- ①小学校卒業式の服装調査を問う  
阿部 としゑ P 7
- ①復興事業について  
②シジミを活用した水産・観光振興について  
③看護師、介護福祉士等の確保について  
石森 晃寿 P 8
- ①赤井南区西地区センターの駐車場の整備を図れ  
五ノ井 惣一郎 P 8
- ①高齢者ドライバー対策について問う  
②消防団車両のオートマチック（AT）化を推進すべき  
熊谷 昌崇 P 9
- ①本市学力向上の現在の成果と今後の対応について  
②東松島オルレと県観光キャンペーン下半期との連携について  
齋藤 徹 P 9
- ①加速する高齢化時代に向けた自動車免許証返納による交通網整備対策および認知症対策についての取り組みを万全にせよ  
②市道（砂利道）の舗装整備の推進で住みよいまちを確立せよ  
③国産乳児用液体ミルクを災害備蓄食品として配備せよ  
土井 光正 P10
- ①今後のまちづくりについて  
②防災課所管について問う  
小野 幸男 P10

- ①子供の健やかな成長のために  
滝 健一 P11
- ①JR東矢本駅における諸課題について  
熱海 重徳 P11
- ①子供の貧困対策について  
②小中一貫教育について  
櫻井 政文 P12
- ①夏まつりの今後の在り方について  
②「ランドセル重過ぎ問題」について  
手代木 せつ子 P12
- ①子育て世帯の国民健康保険税の負担軽減について  
長谷川 博 P13
- ①本市農業の諸課題について  
②名水「太郎坊清水」の復元を  
阿部 勝徳 P13
- ①人口減少対策と商店街活性化について  
小野 恵章 P14
- ①事後審査型入札方式による事務の合理化を提案する  
②SDGsに関連して、災害買取元地の活用を提案する  
佐藤 富夫 P14

## 議会中継はこちらから

東松島市議会映像

検索

### 問 小学校卒業式の服装調査を問う

答 今後は保護者が考えるべき



阿部としゑ 議員

#### 教育長へ質問

問 回収率86・1%についての考え方は。

答 各種アンケート結果の回収率に比べ、高い結果と捉える。

問 洋装支持66%の結果の捉え方。

答 洋装支持が7割近くあり、和装は費用が高い、体が動きにくいなど現実的な判断をしたと思う。

問 2校が和装がいなかった点への見解。

答 和装のデメリット・洋装のメリットについて理解が図られたと思う。

問 市民や小学生を持つ親が何を心配したと思うか。

答 ・洋装支持する理由  
和装の準備の大変さ、体調を崩す等。

### 4 質の高い教育をみんなに



▲どんな服装でも希望に満ちた卒業式になるように

・和装支持する理由  
個人の自由を尊重すべき着物は日本文化等、保護者によって様々な心配があると思える。

問 制服導入について。  
答 卒業式や修学旅行の服装に関連して、行事での服装、経済的負担の軽減を踏まえ、小学校における制服導入についても質問を行っている。その結果、賛成15%反対58%

問 市民は小学校に制服が導入されるのではと心配していた。アンケート結果を新聞で公表すべき。  
答 真摯に受け止め、これからは答えて行くようにつとめる。

どちらともいえない27%であり、制服導入に関しては、教職員も、賛成2%反対80%どちらともいえない18%であった。

復興事業について

復興事業完結、時間と財源が必要



石森 晃寿 議員

**市長へ質問**  
自由民主党、公明党の両党は、令和2年度末に設置期限を迎える復興庁に関し、当面継続させる方針を明記した。一方

で存続期間や財源に関してコメントがない。市長は、復興・創生期間後も中長期に取り組む事業を早急に要望書に反映し、復興財源の確保に努めるべきと考える。次の点について伺う。

**問** 被災者の心のケア対策や見守り支援について  
**答** 定期的な見守り訪問、健康の確認や相談対応、生活に関する悩みごと相



談などに引き続き取り組む。

**問** 市で取得した移転元地周辺の民地購入を含めた画地内の環境整備について。

**答** 県が中心となって本市と同様の課題を持つ自治体と協議し、国に対して要望する。

**問** 災害公営住宅の払い下げについて。

**答** 払い下げを希望する方に意向調査を実施し、入居後十年を目途に希望者の七・八割を満たした団地から払い下げが、できるよう国と協議する。  
**看護師、介護福祉士等の確保について**

**問** 看護師・介護福祉士等を養成する専門学校の誘致。  
**答** 地元県議を通じ、県に要望する。

**問** 市内高等学校の看護科の新設について。  
**答** 石巻圏域の県議を通じて、県に働きかける。



▲災害公営住宅の払下げは、条件が整いしだい検討

老朽化の学供施設の整備を図れ

優先度を判断、前向きに対応する



五ノ井惣一郎 議員

**市長へ質問**  
市内各地区センターや集会所での祭りも自治会役員、地区住民の協力の中、祭りを通じコミュニケーションが図られた。

赤井南区西地区は、五百世帯の自治会で、地区住民が一体となり活動し拠点である南区西センターは昭和50年代に建設され老朽化が進んでいるRC造の学習等共用施設である。

これまでも修繕しているが、今も雨漏りしており、集会室にはバケツが用意されている。

さらに車社会の昨今、駐車場は狭く、石ころだらけであり、利用者からは行政の対応に不満の声が上がっている。



▲雨漏り、駐車場が狭い、南赤井地区学習等共用施設

地区では、駐車場整備の要望嘆願の声もある現状だ。その前に早急に調査し、整備すべきであるが、考えを伺う。

**答** 赤井南区西地区センターの雨漏りは、地域から修繕要望を受けている。現地を確認した結果、建物本体に与える影響が大きいと判断。屋上防水シートへの張り替え工事を補正予算で早急に対応する。

赤井南区西地区センター駐車場の舗装整備については、地区の皆様から要望を受けており、嘆願書提出の声も出るなど大変ご迷惑をかけている。現在市内4箇所の集会所から舗装整備の要望が出されている。今後、優先度を判断し、前向きに対応する。



問 高齢者ドライバー対策について

答 各種支援施策の研究を検討中



熊谷 昌崇 議員

熊谷 議員 熊谷 議員 熊谷 議員

**市長へ質問**  
 問 昨今、アクセルとブレーキの踏み間違えをして悲惨な事故が起きたというニュースをよく聞く。高齢化社会における全国



▲ペダルの踏み間違え

また、運転免許返納者への支援施策は、「らくらく号」の割引制度等の導入を検討している。  
**消防団車両のAT化を**  
 問 先日、消防演習が開催され、その中でポンプ車の行進があつたが、1台の車両が数回エンストする場面があつた。思うに、日本では新車販売の98%がAT車であり、MT車を使う機会が少ない。最近の運転免許取得割合はおよそMT対ATで4対6であり、AT限定免許の方が多いため、MT車の運転をできないことからAT車の導入を検討すべきではないか？  
 答 本市では、消防団の災害対応能力の向上と地域防災力の強化を図るため、31台の小型消防ポンプ積載車を運用しているが、この内、30台がMT車であり、普通自動車免許での運転が可能となっているが、今後は消防団幹部と検討していく。



問 学力向上の成果と今後の対応は

答 教育委員会が主体性を持って取り組む



齋藤 徹 議員



▲授業環境の整備のため、各校に導入された電子黒板

**教育長へ質問**  
 問 今年度は、大型連休等で、夏季休業短縮分が相殺されている。今年度内の何らかの対策は。  
 答 年間指導計画を策定し、授業時間は確保されている。また学習会の実施等、総合的な取り組みを指示していく。  
**問** 今年度の学力調査の結果を踏まえた各校の対応は。  
 答 教育委員会としての分析と考察を示し、成果を挙げている学校の取組について情報共有を図りながら、各校の体制の充実を目指す。  
**問** 長期休業中の補習等実施状況は。  
 答 小学校4校で夏休み学習会、中学校2校で自

学習のための教室開放をそれぞれ実施し、延べ2,620人の児童、生徒が利用した。また市内3会場において、夏期学習会を開催し、延べ507人が参加している。  
**問** 発達障害を抱える生徒に対する学力向上の考え方は。  
 答 障害の有無に関わらず、学力を身につけることは重要。ICT等を活

用し、理解しやすい授業を実施していく。  
**東松島オルレと県観光キャンペーンとの連携は**  
**市長へ質問**  
**問** 県キャンペーンの内容が見えないが。  
 答 オルレを活用する計画だが、どのコースかは不明である。本市としては、9月下旬の県知事発表を待つ。



問 高齢者の自動車免許返納対策は

答 らくらく号の割引チケットを検討



土井 光正 議員

市長へ質問  
問 デマンドタクシー（らくらく号）の登録者のうち、利用者はわずか16%であり、普及啓発をさらに行うべきではないか。

答 百歳体操の集まりや敬老会等に市職員が出向き、らくらく号の利用方法の説明や登録者の募集を行う体制をつくる

問 利用者の声で最も要望の多い日赤病院までの運行を早急に検討すべきである。

答 事業者との協議会に提案し協議していく。

問 市内チケット販売所が少ない。利用者の利便を確保するためには、チケットの車内販売も実施すべきである。



問 今後のまちづくりについて

答 地域の声を聞き工夫等に努める



小野 幸男 議員

市長へ質問  
問 宮戸・野蒜市民センターの統合について。

答 宮戸・野蒜地域の合意形成が大前提である。

問 野蒜・宮戸地区の交通網の拡充と免許返納者への対応は。

答 観光振興も視野に可能な手法等を検討する。

問 8地域の今後の予算と地区担当職員の取り組みについて。

答 詳細に精査を行い適切な予算額を検討する。



▲歩行困難な砂利道／乳児用液体ミルク

問 QRコードを利用したみまもりカードは有効と思われるので検討する。

市道の砂利道舗装対策  
問 砂利道の舗装整備で住みよいまちを確立せよ

答 住宅に接する場所の道路については計画的に整備していく。

乳児用液体ミルクの備蓄  
問 使い勝手の良い国産乳児用液体ミルクを災害備蓄食品として早急に配備すべきである。

答 現在備蓄品の粉ミルクの更新時に検討する。



▲震災伝承館の早急な充実を期待する

問 子供の健やかな成長のために

答 社会全体で取り組む課題とする



滝 健一 議員

**市長へ質問**  
 児童相談所の児童虐待の相談対応は毎年連続して増加している。虐待しないさせない意識を根付かせる取り組みは。

答 虐待防止のパンフレット、市報等での周知徹底、虐待対応研修、地域の見守りの充実に取り組んでいる。また、1月から東松島市子育て世代包括支援センターを設置し対応している。

問 自ら命を絶つ子供の報道が多い、子供のSOSを見逃さず救いの手差し伸べることの大切さについて。

答 子供のSOSを見逃さないため、地域住民や関係者への研修会や、自死予防のための普及啓発等を実施する。

家族や学校だけではなく、社会全体で取り組む課題として、子供の命を守る環境づくりに努めていく。

教育長へ質問

問 いじめなど発生しにくい環境づくりのための努力や模索について。

答 児童生徒の健全な心を育てる教育が重要であり、好ましい学級づくりや集団づくりとともに、道徳教育を充実させることが大切である。

児童生徒を全教職員が見守り、学級担任を孤立させず、風通しのよい職員室づくりが必要である。

貧困世帯の子供教育に対する機会均等は。

答 要保護児童生徒に寄り添い関係機関と情報共有を図り、教育の機会確保等の支援に取り組む。



▲虐待しないさせない意識を市民全員で持とう



問 JR東矢本駅における諸課題について

答 独自の要望活動を検討する



熱海 重徳 議員

**市長へ質問**  
 JR仙石線の増便および停車駅の改正について。

答 増便および改正については、本市が構成員となつている「仙石線整備促進期成同盟会」および「宮城県鉄道整備促進期成同盟会」を通じて、毎年JR東日本仙台支社および宮城県に対して要望を行っている。特に東矢本駅については、震災以前から通勤・通学などの利用者が多く、仙石線の快速列車停車駅であったこととともに、震災後駅北側におおい団地が整備され電車の利用対象者が増加していることから、これまで継続的に要望してきた。しかし、いまだ



▲増便が求められる東矢本駅

改善が見られず、時間もかなり経過していることから、今後は市独自の要望活動も検討していく。

また、周辺踏切整備においても、JR側から1廃止1改築の原則を主張され協議が難航している。しかしながら駅利便性の向上や災害時避難路の確保等から市としても課題と捉えており、今後も粘り強く要望していく。

北側出入口整備については、以前の協議で財源や安全確保の技術的検証、近隣踏切の閉鎖等の課題が投げかけられ、具現化は難しいと判断した



問 子供の貧困対策について

答 県の取組を踏まえ検討する



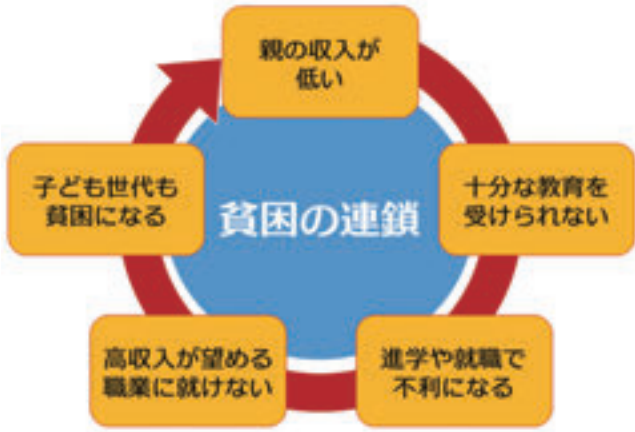
櫻井 正文 議員

**市長へ質問**  
 内閣府の有識者会議は本年8月7日、子供の貧困解消に向けた施策のあり方を公表した。この提言のポイントとして

「自治体による貧困対策の計画策定や取組の促進」が明記されている。そこで以下の所見を伺う。  
**問** 当市における「子供の貧困」の現状把握は。  
**答** 平成30年度は19件あった。

**問** 学校との連携をどのように図るのか。  
**答** 教育委員会を通じて学校との情報共有を図る

**問** 子供食堂への支援は。



▲子供の貧困解消は急がれる行政課題



**答** 市内の子供食堂の実施状況を踏まえ、間接的支援等も含め、可能な支援を行う。

小中一貫教育について  
 教育長へ質問

**問** 令和元年第2回定例会で志小田教育長は、今後の市教育行政のあり方について、歴代教育長の基本方針を踏襲すると表明したが、小中一貫教育には自身のカラーを打ち出すとの抱負を述べた。そこで以下の所長を伺う。

**問** 小中一貫教育のメリットは。  
**答** 中1ギャップの解消。学力向上やいじめ、不登校問題、心の教育等に成果が期待できる。

**問** 当市では具体的にどのような形で小中一貫教育を実施するのか。  
**答** 校長会議や教頭会議等で小中連携の意義を指導するとともに、児童生徒の連携、教職員の連携等について指示をする。

問 「ランドセル重過ぎ問題」について

答 登下校時の荷物「置き勉」で軽減



手代木せつ子 議員

**教育長へ質問**  
**問** 文部科学省から改善が求められている児童生徒の通学かばん（ランドセル）の重さや量について、現状をどのように把握しているのか。

**答** 9月4日にランドセル、かばんを含めた携行品の重さについて市内8小学校の児童175人、3中学校の生徒36人を抽出して重さを調べた。小学校では体育着を加えると約4・7kg、約5・8kg、中学校では部活動用サブバックを加えると約10・7kgであった。

**問** 成長期の身体に過剰な負荷をかけるのは良くない。ランドセルは軽いからこその頭の上に乗せて防災に役立てたり、すばやく逃げられる。子ども達の健康や安全を第一とすべきではないか。  
**答** 小学校では書写や道徳、社会科学の資料集等、中学校では音楽や技術・家庭、美術等の教科書や資料集等、教室のロッカー保管、全校に「置き勉」を統一指導する。



▲このランドセル、ちょっと重いです!!

**問** 学校に教材を置くロッカーの広さは十分か。  
**答** 各小中学校の教室

のロッカーは十分間に合っている。  
**夏まつりの今後の在り方について**  
**市長へ質問**  
**問** 日本一の夏まつりを目指し市は実行委員会とどのように関わりを持つか。  
**答** まつりは政治の原点。市民のためのまつりと捉え実行委員会を後援していく。





▲ケガ、病気の時に安心して通院できるように

問 子育て世帯の国保税負担軽減を

答 現時点では財政的に困難



長谷川 博 議員

**市長へ質問**  
 国保税の均等割は収入の無い子供についても一律に賦課される。他の保険とのバランスを考えた上で、子育て世帯の国保

税は軽減すべきとの考えのもと、独自に子育て支援を目的に税賦課を減免する自治体が増えている。新聞によれば全国25自治体で取り組まれ、仙台市も今年度から18歳未満の子どもの均等割額の3割分を減免している。仮に本市で実施した場合どうなるのか。

答 仙台市と同様に独自減免した場合、子ども一



人当たりの年間減免額は10,040円、子育て世帯の平均軽減額は21,000円程度、市全体で約900万円の軽減。加えて減免対応のシステム改修費約1,800万円など、初年度合計で、約2,700万円必要。市にとって財政的に厳しい。

問 国保加入世帯のなかで18歳未満の加入世帯は447世帯、そのうち法定軽減対象世帯が約68%。一方で全滞納世帯は832世帯、そのうち18歳未満を扶養する世帯が60戸、滞納世帯の約7.2%である。子供の貧困、子育て世帯の厳しい暮らしに思いをして、こうした部分にこそ政治の光を当てるべき。

答 子育て支援、子供の貧困を考えると提言は当然のことと理解する。今はちょっと立ち止まって国や県の動向を注視していく。県市長会を通じて国に要望をしていく。

問 本市農業の諸課題について

答 課題解決に努め振興を図る



阿部 勝徳 議員

**市長へ質問**  
 米の生産コスト削減とスマート農業の本市での取り組みは。

答 農地集積と直播栽培やスマート農業などによるコスト削減が農業振興に重要だ。農地集積は国の目標を上回り88.02%、直播栽培については普及拡大のため補助を行っており、全水稲作付面積の11.8%（238ha）に増えた。スマート農業は野蒜地区で国の実証プロジェクトを行っている。

問 条件不利地における耕作放棄の対策は。

答 耕作条件の改善や農地中間管理機構を活用し担い手と連携し防止と解消に努める。

問 全国的に担い手不足



▲農地の再生と大区画化による大豆栽培

が危惧されるが対策は。

答 担い手の中心として期待する法人が30法人になった。担い手不足対策としては本市独自の支援策として、国の事業の「農業次世代人材投資事業経営開始型」対象者に年間30万円の上乗せ補助を引き続き行うとともに、新規就農者技術習得管理施設の利用促進や県と連携し担い手確保に努める。

**名水太郎坊清水の復元を**  
 問 本市の史跡の一つである太郎坊清水（別名一杯清水）の一部が崩落し立ち入り禁止となっているが早急に復旧整備すべきと考えるが。

答 平成10年に県が周辺整備を行い本市が維持管理をし、周辺住民の皆様に清掃美化の協力をいただいている。県と協議をし早急に復旧をする。

問 空き店舗への補助事業創設を

答 前向きに検討



小野 恵章 議員

**市長へ質問**  
 問 空き家バンクと空き店舗対策を連動させた施策として、空き店舗補助事業の創設について。

答 空き店舗については、全域の空き家調査に併せて、駅前区、上町一、二、三区で調査の結果、居住の可能性が高い併用空き店舗と店舗専用・事務所専用として、18物件が確認された。市内においても空き店舗と思われる物件が多数存在することから、今後その有効活用が進むよう、住まいと移住者のなりわいとの連動も念頭に置き、空き店舗へ



▲地域活性化に空き店舗、空き屋対策を



9 調査と情報提供の集まりをつくらう

の補助事業創設について、他の先行自治体の例を参考に前向きに検討する。

**問** 商店街の活性化のための担い手施策を、講じるべきではないか。

**答** 商店街の担い手確保は重要だ。創業支援補助金制度(上限250万円)により空き店舗の改築や改装、設備・備品整備などの支援で、担い手の確保につなげたい。引き続き施策の充実に努める。

**問** 奥松島公社を活用したパイロット事業(店舗開発、担い手育成等)を導入するのはいかがか。

**答** 担い手にとって、店舗開業資金の調達や経営に関する知識、ノウハウの不足等が課題で、一定の環境を整えた施設の活用は、開業に向け大きな魅力だ。まずは市商工会と協議してゆく。

公社については、現在の経営環境の中、取り組み可能か今後相談してゆく。

問 一般競争入札の事務合理化を提案

答 段階的に総合評価落札方式を採用



佐藤 富夫 議員

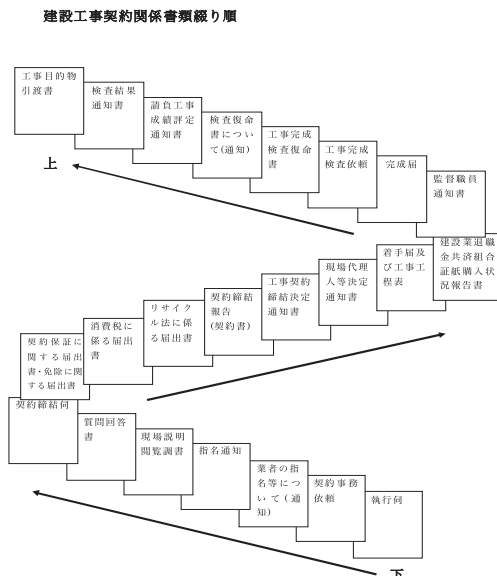
市長への質問

**問** 昨年の一般競争入札は、74件中4、14社の入札があり平均一回の入札に付き8社である。入札事前審査に約8時間を要するが、これを事後審査にすると約2、3時で済む。技術力など総合評価と合わせ、入札事務の合理化をはかるべき、いかがか。

**答** 県の指導により先ず本格的な総合評価方式を段階的に目指して行く。議員提案の審査の合理化は、必要な視点。今後研究をして行きたい。

**問** かつて宮野森小の工事入札の議会否決があり、理由は不誠実な施工予測であった。検証はしたか。

**答** 検証の形はないが、



※上記には工事請負金額及び工事内容により発生しない書類もあります。

▲事務手続きは、こんなにある。改善の余地は大いにあり



8 働きがいも経済成長も

「コリンズ」などの情報で適切な判断をする。

**SDGs**に関連して**災害元地の活用を提案する。**

**問** SDGsの大きな目標は、全世界で貧困を解消し食料難など人間生活の上での問題を解決することにある。世界ではアフリカをはじめさまざまな国で一日の食の確保が困難な所もある。本市には未利用の災害買取元地

が多々ある。その一部を大豆・麦・芋など援助物資として栽培してはいかがか。ノウハウは国際協力機構・マンパワーはネットによる呼び掛けで良い。提案する。

**答** 被災元地の活用は民有地を含め県を通じ国への要望をする。

議員提案は実現出来れば国内外へ大きくアピールできる。

# 市議会アンケートを実施しました

市議会ウェブサイトを見たことがありますか

設問	人数
ア ある	5
イ ない	17
未回答	1

市議会インターネット中継を見たことがありますか（複数回答可）

設問	人数
ア 本会議ライブ（生）中継を見たことがある	7
イ 録画中継（議案審議）を見たことがある	10
ウ 録画中継（一般質問、会派代表質問）を見たことがある	4
エ ない	2
オ 未回答	0

本会議を何回傍聴したことがありますか

設問	人数
ア 初めて	7
イ 2、3回	10
ウ 4、5回	3
エ 5回～9回	2
オ 10回以上	1

市議会だよりを読んでいますか

設問	人数
ア 毎回読んでいます	11
イ ときどき読んでいます	2
ウ ごくたまに読んでいます	0
エ あまり読まない、読んだことがない	0
オ 未回答	10

6月（第2回）定例会で、傍聴者を対象に市議会アンケートを実施しました。市議会について、また、市議会だよりについて、多様なご意見をたくさんいただくことができました。お褒めの言葉を励みとし、厳しいご意見は真摯に受け止め、今後の市議会運営に努めてまいりますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。アンケートの中から、主な回答結果を掲載します。



8月22日、総務部行政経営課長ほかを講師として、財務常任委員会委員研修会を開催しました。今後の決算審査のため、本研修会で新公会計制度についての理解を深めることができました。

**財務常任委員会  
委員研修会を実施**  
『平成29年度決算に係る新公会計制度による財務諸表研修』

## 議会運営および活動状況 令和元年6月13日以降

6月13日 広報常任委員会	7月18日 総務常任委員会
14日 産業建設常任委員会	24日 農林水産施設の整備及び施策に関する要望会
17日 総務常任委員会	27日 東北市議会議長会
18日 民生教育常任委員会	27日 東松島市欠本西市民センター開所式
19日 議会運営委員会、議員全員協議会	8月2日 議会運営委員会
24日 広報常任委員会、議員全員説明会	5日 産業建設常任委員会、議員全員説明会
27日 総務常任委員会	9日 民生教育常任委員会、議会運営委員会
7月1日 全国市議会議長会基地協議会	宮城県市議会議長会
4日 議会運営委員会	18日 令和元年度東松島市消防演習
8日 広報常任委員会、総務常任委員会	20日 東松島市戦没者追悼式
10日 民生教育常任委員会	22日 財務常任委員会
17日 広報常任委員会	24日 東松島夏まつり2019開会式
	9月2日 議会運営委員会

**財務常任委員会  
予算および決算の審査に備えた予備調査小委員会**  
小委員長 阿部 勝徳  
石森 晃寿  
上田 勉  
土井 光正  
小野 恵章  
長谷川 博

9月25日、予備調査を実施し、予算および決算審査を円滑に図るため、財務常任委員会に小委員会を設置しました。

**財務常任委員会予算および決算の審査に備えた予備調査小委員会を設置**



▲こちらから、議会基本条例をご覧ください

**東松島市議会基本条例検証に関する調査特別委員会**  
委員長 佐藤 富夫  
副委員長 阿部 勝徳  
委員 上田 勉  
齋藤 徹  
小野 幸男  
櫻井 政文

議会では、この条例の目的が達成されているかどうかを検証するため、東松島市議会基本条例検証に関する調査特別委員会を設置しました。

9月27日、東松島市議会基本条例は、議会の基本理念、議員の責務および活動原則、議会運営の原則、議会と市民および市長その他の執行機関との関係等に関する基本的事項を明らかにする議会の最高規範として、平成23年4月1日から施行しています。

**東松島市議会基本条例検証に関する調査特別委員会を設置**



▲毎年、夏まつりにお越しいただいております

市議会一同、この場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございます。

8月23日、友好都市である豊前市議会の6名の議員に来市いただきました。23日に本市議会に表敬訪問いただき、交流を深めたほか、翌24日には、豊前市から同行されてきた商工会議所の皆さまとともに東松島夏祭りの豊前市PRブースを出展いただき、祭りを盛り上げていただきました。物販の売り上げは、本市に復興寄付金としていただきました。

**豊前市議会（福岡県）  
友好都市交流 来市**

## 傍聴者インタビュー



三浦亨子さん  
(東松島市建設課すてやかクラブ会長)

## 令和元年 第3回東松島市議会を傍聴して

去る9月10日(火)、議会の定例会を傍聴し、大変実のある傍聴ができ満足な気分です。

件名が高齢者に対しての一般質問で少子化、高齢化が今の社会状況。その中の問題①免許の返納②認知症③孤独死④徘徊と老人特有の問題が多い、家族、その

地域の支援が不可決となることでしょう。「見守りカード」「デマンドタクシー」等の説明に身をのりだして聞きいりました。

市長さんの答弁に老人への配慮のお考えに前向きで敬服致しました。類した研修を私たちの事業の研修にとりいれたいと考えております。

## ●●議会を傍聴してみませんか●●

### 12月定例会日程(予定)お知らせ

- 12月 5日(木) 10時00分～ 本会議 (開会、議案審議等)
- 12月 9日(月) 10時00分～ 本会議 (一般質問)
- 12月 10日(火) 10時00分～ 本会議 (一般質問)
- 12月 11日(水) 10時00分～ 本会議 (一般質問)
- 12月 12日(木) 10時00分～ 本会議 (一般質問)
- 12月 16日(月) 10時00分～ 本会議 (議案審議等、閉会)

※変更の場合がありますので、詳しくは市議会ウェブサイトをご覧ください。

議会日程ウェブサイトQRコード



傍聴およびライブ中継をご視聴いただきありがとうございました。

令和元年 第3回 定例会  
(9月5日～27日、本会議開会6日間)

傍聴者数

24名

インターネットライブ中継  
視聴者数

377名

## ● 本会議傍聴のための名簿記載を改善しました ●

6月(第2回)定例会で、傍聴者を対象に市議会アンケートを実施した結果、「市議会の取り組みについての自由意見」として、「傍聴者が名前を書くのはよろしいが、ポスト投函式にすべき」とのご意見をいただきました。

従来は、東松島市議会傍聴規則により、傍聴者受付として、傍聴人受付簿に記載いただいていたのですが、用紙1枚に複数名記載いただいていた。

ご意見について、議会運営委員会で協議した結果、個人情報保護の観点から、用紙1枚に1名記載し、投入箱

に記載していただく形式に変更することに決定しました。

8月5日の第6回臨時会から、下記の写真のとおり、議場入口にて、傍聴券にお1人ごと記載いただき、ご入場いただけるようになっております。

今後も、多くの市民のみなさまに傍聴いただけるよう、傍聴しやすい環境づくりに市議会を挙げて取り組んでまいります。

(市議会アンケートの結果は、p.15に掲載しております)



▲傍聴券に、住所、氏名、備考をご記入いただき、投入箱へ入れていただきます。



### 編集後記

今年も残す所、2ヶ月となりました。

時の流れは早く「歳月人を待たず」という格言が頭をよぎり、時の大切さを改めて痛感する今日この頃です。

さて、「市議会だより」は、この号を含めて本年は3回発行しました。

発行を重ねることに市民の皆様には、議会および議員の活動をより深く、ご理解いただけたら幸甚に存じます。

「市議会だより」は今後、さらに読みやすく、デジタル面にも配慮した紙面作りを行ってまいります。

よりよい紙面作りのために市民の皆様のご要望やご意見をぜひ、お寄せいただきたくお願致します。

(櫻井 政文)

- |    |         |
|----|---------|
| 委員 | 小野 恵章   |
| 委員 | 櫻井 政文   |
| 委員 | 石森 晃寿   |
| 委員 | 手代木 せつ子 |
| 委員 | 齋藤 徹    |
| 委員 | 小野 幸男   |
| 委員 | 阿部 勝徳   |